



手を貸そう

Lend a Hand

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

第 2560 地区ガバナー

…………… 原 信一
会 長 …………… 佐野 勝 栄
会長エレクト …………… 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
副 会 長 …………… 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
幹 事 …………… 荻 根 沢 隆 雄
S A A …………… 杉 山 幸 英
会 計 …………… 渋 谷 正 一

例 会 日 …………… 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び …………… 三条市旭町 2 - 5 - 10
事 務 局 …………… 三条信用金庫本店
例 会 場 …………… TEL 35 - 3311
事 務 局 …………… TEL 35 - 3477
FAX 32 - 7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: <http://www.soho-net.ne.jp/rotary/>

(は shift を押しながら“へ” のキーを押してください)

本日の出席会員数	65名中52名
先々週出席率	88.71%

ヴィジター

三条北より 山上茂夫さん

先週のメイクアップ

5/31 三条南へ 渡邊喜彦さん

会 長 挨 拶

佐野 勝 栄 会長



皆様こんにちは。6月に入り、後一週間程で梅雨入りになりそうです。

又してもイラクにおいて民間人のフリージャーナリストである橋田信介さんと、おいの小川

功太郎さんが、武装勢力の犠牲になりました。橋田さんは、戦場報道カメラマンというだけでなく、戦場で戦闘に巻き込まれ、ケガをした子供達を日

本に送り、治療を受けさせる救援活動を行ってきました。この度も今年3月、現地で知り合った男性から、息子のモハマド・ハイサム・サレハ君(10)が、イラク・ファルージャで米軍と地元の武装勢力との戦闘に巻き込まれ、ガラスの破片で左目に大けがをした事を知らされました。

橋田さんは日本で治療させようと、親交のあった一杉さんに相談。一杉さんは静岡・沼津ロータリークラブの会員で、ローターアクト委員長を務めている為、沼津ローターアクトクラブに働きかけ、募金活動をするなどして受け入れ準備を進めてきました。橋田さんは6月1日にモハマド君父子を伴って帰国、3日に聖隷沼津病院で治療を受けさせる予定でした。しかし、残念ながら、橋田さんは一緒に帰れませんでした。30日夜、沼津ローターアクトクラブが記者会見して、6月4日に来日する予定になりました。橋田さんは亡くなりましたが、その意思を受け継ぎ、イラクの少年は予定通り来日して、治療を受けて、元気な姿になり、父子共々帰国できます事を願いたいと思います。この様な局面で、同じロータリアンとローターアクトが協力支援活動をして、役に立って

いる事を知り、大変心強く、また頼もしくも感じて記事を読んでいた次第です。先程の理事・役員会で急遽発議し、この募金活動に協力しよう！という事になり、沼津ロータクトクラブへスマイル・ボックスから10万円の救援金を送る事になりました。

さて、話は変わりますが、昨年8月国際親善奨学生として英国のポーリック大学へ1年間英語を学びに送り出した三条市・柳沢の新潟大学大学院生、田中真由美さんからお便りが届きました。その中で、小川さんの属するイギリスの1060地区には15名の国際親善奨学生がおり、その中の1人ダン・ストーンスク氏がエジプトから逃れてきたスーダン難民の子供達の為に募金活動計画を立ち上げ、田中さんもその活動に参加しており、ぜひ私共にも協力をお願いしたい旨の手紙をいただきました。エジプトでの難民施設の子供達は教育施設、教材等の不十分さはもちろんのこと、教育現場における食料不足も深刻な問題となっており、募金活動の目的は、子供達に最低限以上の教育環境を提供する事です。この意義深い国際親善活動に三条ロータリークラブとして先程理事・役員会にて支援金の1部として同じくスマイルボックスより10万円を寄付する事にしました。

小川さんは単なる英語の勉強を学ぶのみでなく国際親善奨学生として国際奉仕活動をしております。三条クラブが親善奨学生として送り出した事にふさわしい学生さんでした。きっと、来年の今頃には子供達に思いやりのある教師として活躍されている事と思います。

ニコニコBOX

佐野勝栄さん

今日の会員卓話を楽しみにしています。お二方よろしく願います。

荻根沢隆雄さん

いよいよ最終ステージに入りました。今一息です。細井さん、加藤さん卓話ご苦労様です。

石塚欣司さん

次男が5月29日に結婚しました。3年以上お付き合いしていたようで、仲間内では常識でした。一番知らなかったのは両親でした。

松谷眞吉さん

国際大会では大変お世話になりました。特に琴平では夕食時にデコレーションケーキを前にお祝いしていただき有難うございました。

広岡豊作さん

雑誌委員会です。1年間「ロータリーの友」とお付き合い頂いて有難うございました。

青木文雄さん

先週3泊5日の日程でタイの工場団地を視察してきました。団地面積にビックリしました。

斎藤弘文さん

5月28日(協)三条工業会の通常総会を開催することが出来ました。

渡辺勝利さん

ゴルフで嬉しいことがありました。全く思いがけなくという事でした。

小越憲泰さん

先週のロータリー国際大会に参加させていただきました。荻根沢幹事さんのお陰で楽しい旅行でした。今日は細井先輩、加藤先輩の卓話楽しみです。

会田二郎さん、石月良典さん、杉山幸英さん

細井さん、加藤さん、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

高橋 司さん

よいことがありました。BOXに協力致します。

佐藤 武さん

都合により早退させていただきます。

6月2日分 ￥20,000
今年度累計 ￥995,000

卓話



細井 増雄会員

私が入会させて頂きましたのは昭和42年です、確か10周年記念式典にカミサンと出席した記憶があります。

その時の会長は野島書店の馬場一太郎さんでした。昭和42年の春頃でしたが、夕方近く、金子三郎さんが自宅に来られました。金子さんは存じていましたが、ほとんど口を訊いたことが無い方でした。その時は直接ロータリーの入会の話ではなく、当時は三条信用金庫に「杉の子会」と言う会があり、その会長にうちの親父になって欲しいとの用件でした。また、その年には三条中央ライオンズクラブが発足し、若い人たちがそちらに入会し、ロータリーから若い人がいなくなる時期でもあったことから、親父に対し息子の入会の話があったようです。

暫くして、三条青年会議所の理事長である高野昭男さんと石丸賢一さんから入会を勧められ、その後も中條耕二さんや馬場会長が来られました。私はロータリーのことは何にも知らないし、親父も「ライオンズと似たようなものだろう」程度の

認識でした。私は当時 27 歳でしたが、世間も良く知らないし、親父の薦めもあって入会させてもらった次第です。その時は青年会議所に入っていましたし、まだまだ仕事も中途半端な中で入会しましたが、今なら断っていたかも知れません。

金子三郎さんが、どうして私のことを知っておられたかと言いますと、昭和 41 年 5 月、韓国と国交回復してから半年後に新潟県経済使節団（メンバーは全員三条）約 20 名が韓国に行く事になり、私の親父も予定していたのですが急用のため行けなくなったことから代わりに参加することになりました。当時は一週間の旅でした。使節団は団長に金子三郎さん、他に金子さん、加藤さん、吉田さん、下村さん、丸山さんなどロータリー会員がほとんどでした。金物協会からも何人が参加しました。私は鈴木宗資さんと同部屋で過ごし、夜も昼もお世話になりました。

当時の韓国は国交回復したばかりであり、米国の援助もあったことから公用語は全て英語でした。私は学校を卒業したばかりでもあり英語はなんとか通用できました。金子さんと鈴木さんは、夜になると必ず骨董屋に行かれました。当時は良い骨董が沢山あったようで、私も一緒に片言の英語を使い骨董屋との交渉などに出かけました。そして鈴木さんに勧められ一輪挿しを買ってきました。帰ってその品をお茶の先生に観てもらったら価値のあるものだと言われ、鈴木さんの鑑定は確かなものであったと思いました。

入会してみてビックリしたのは、メンバーの皆さんが三条新聞に顔が出てくるような、すごい人たちばかりがおられる会であり、これは大変な所へ入ってしまったと思いました。でも考えようによっては、そのような人達と一緒に食事をしたり、卓話で話を聞いたりすることが自分の為になるし、勉強の場になるのだと思い、以来続けさせてもらいました。一緒に入会されたのが高橋清見さんでした。彼の卓話は大変素晴らしいもので何回か聞いております。ゼロ戦の設計に携わったと言う事で、よく飛行機の話がされていました。それと小池先生は勿論卓話も素晴らしかったし、ゴルフもよくやっておられました。それからロータリーでよく教えて頂きました事は、渡辺惣吉さんからいろいろと教えて頂きました。彼は自分が入会以来、三条の例会に出席する限り毎回信用金庫に千円づつ貯金をされておりまして、千回目の例会があった時私に「細井さん 10 万円貯まりました」とお話されたことを覚えています。

ロータリーについて最近感じることですが、今年の地区協議会で柏原 R C のメンバーで田中さんと言う方がロータリーの原点についてお話されま

した。原点は第一に「親睦」である。それから「職業奉仕」である、ポールハリス氏らの設立の頃は、まず集まって仲良くなる、それから自分たちの仕事にプラスになることはないか？を話し合ったり、その後メンバーが増えたり、いろんな面で余裕が出来たら、「何か困っている人がいるのではないか？そう言う人を皆で助けよう。」と奉仕が始まったとの話がありました。私もその事に賛成であります、「自分の職業奉仕を第一に考える」。自分自身たいした者ではありませんが、クラブ奉仕と職業奉仕そして、それで頑張っただけで余裕を持って社会奉仕・国際奉仕をやるのがロータリーの原点であると思います。

入会の思い出や最近の感想を含めお話をさせてもらいましたが、これで終わりと致します、ありがとうございました。



加藤 紋次郎会員

皆さんこんにちは。私は入会して今月末で丸 20 年経ちます。お陰さまで 20 年間頑張っただけで生きていたなと思います。と言

いますのは、私は、昭和 55 年の時に大病を病み、皆さんからも、仲間からも心配して頂きました。それから昭和 57 年に再度、加茂病院に半年ほど入院しました。その時は「もうこれで終わりかな？」と思いましたが、また退院することができました。しかし、何時も腹の中に水袋を抱え、仕事もろくにしないで、病気の回復に努めてきました。

そんな折り、たまたま親父が「もう交代の時期だ」と言われた事から、昭和 59 年の 7 月 1 日にロータリーに入会させて頂きました。入会の頃は何をやるのかと友達に聞いたら、「まあ、適当にやればいいよ」という事で、今でも私の耳の中に残っています。あまり一生懸命やると頭からコツンと来るぞ！またやらなすぎるとコツンと来るぞ。と、アドバイスを受け、ほどほどとは、非常に難しい「言葉」であると感じました。

私はこれまで会員増強委員長や親睦・米山・スマイルボックスをやらせて頂きました。その中の一つひとつの思い出として、スマイルボックスの時に、前年度の金額より 10% 増を目標にしたいと申し上げたら「お前何言ってんだ、目標を立ててやること自体間違っている」「会員同士の心の中での気持ちを浄財としてもらっているのだから、10%の強制はおかしい」と言われた。私は気持ちを 10% 上げれば金額が増えるのではないかと考えたのですが、そこでパッシングをもらい、もう

仕事はしない方がいいと思った事もありました。

また親睦の時は、当時会費以外は徴収してはならない事になっており、確かに参加者メリットと言う事もわかりますが、「2000円とか3000円」の会費を頂戴しても良いのでは考えましたが、結局駄目でした。それでも咲花温泉から屋形船で川くんだりを開催した時は、渡辺惣吉ご夫妻が参加され、お二人から本当に楽しかったと御礼の言葉を頂戴した事がありました。

また会員増強の時は、私も直ぐその気になるものですから、(この間も法人会の会員増強で表彰を頂きましたが)何かやるとなると、唯やるんじゃなくて、必死になって努力すべきだと感じながら取組んで来ました。それが「お前何してんだ、員数集めではないのだ」と言われた事もありました。その数年後に斉藤さんが会員増強についているんなお話をされましたが、「如何にロータリーに相応しい人格を」と言うことなのでしょうけども、私は一人でも多くと言う事で会員増強に努めて来ました。次の会長の時、新発田で三条地区が、会員増強運動がNO2で表彰され、喜んでおりました。

私は20年間で自慢できるのは何かと言いますと、先輩諸氏には沢山いらっしゃいますし、これから先もずっと続けて行きたいと思うのですが、それは「出席率100%以上」です。確かに最近の本クラブでの出席が少ないですが、入会当時はサービス産業ですから、何時でもここに来られたものです。しかし、何時でも来られるのですが、反対に来られないものでもあります。日曜があって日曜が無く月曜があって月曜が無いと言う事です。何時が暇で何時が忙しいと決まっている訳ではありませんので時間が制約されると厳しいものです。だからここに居ながら時には燕にメイキャップして来ました。それは時間の制限が無いので朝から

夕方までメイキャップ出来たからです。そんな優遇措置を頂きながらさせて頂いています。本来ならもっとホームクラブに出席すれば宜しいのですが、そんな事情もあるのでカバーしております。

それでもロータリーの活動に対して自分自身が意欲を持っており、自分の目標である、出席率100%を目指して一生懸命頑張っておりますので、是非皆様も一緒にお願ひしたいと思います。

話は変わりますが、お手元に交通安全協会のメモがあります。これは安全運転管理者部会の講習会で、私が挨拶した時の資料です。内容はシートベルト着用率の調査結果で三条地区は全国NO2となっています。NO2でもワーストからの2番目であります。昨年全国での着用率は89.4%、新潟県は80.8%更に三条地区では通勤時で男子が76%、女子が81.3%です。それが皆様の企業(安管企業)で見ると男子93.5%、女子87.4%です。何で20%も違うかと言うと、会社の前まで行くとシートベルトをすと言う事です。私の会社でも黙って調査したことがあります。そしたら管理者が一人も掛けていない結果となり、早速社内通達を行い「次回で未着用であったら1000円」を徴収するとしたら、翌日より無くなりました。

そんなことで非常に低い着用率になっている現状であります。特に最近では交通事故が減ってきておりますが、着用しない重大事故が多発しております。皆さんの会社でも是非着用率を上げて頂きたいと思ひます。協会としても16年度目標として、「交通事故死者数5名以内」として取組んでいます。昨年の三条は死者9名でしたが、小泉総理は10年以内に死者5000名以下の目標を掲げており、その「5」を頂戴して目標としています。その為の重点活動としてシートベルト着用率を90%以上に高めるべく活動をしていますので、是非皆様からもよろしくお願ひしたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

次週 例会 6月16日(水)クラブ・フォーラム

次々週例会 6月23日(水)クラブ・フォーラム

